

千葉商科大学 プレスリリース

日本の中小企業や団体によるRE100宣言の新枠組み 「再エネ100宣言 RE Action」 千葉商科大学が参加表明、大学からの参加第1号

千葉商科大学(学長:原科幸彦)は、2019年10月9日(水)に、グリーン購入ネットワーク(GPN)、イクレイ日本(ICLEI)、公益財団法人地球環境戦略研究機関(IGES)、日本気候リーダーズ・パートナーシップ(JCLP)が発足したイニシアティブ「再エネ100宣言 RE Action(アールイー・アクション)」に、大学として初めて参加しましたので、お知らせします。

新たな枠組み「RE Action」は、日本国内の自治体・教育機関・医療機関等および消費電力量10GWh未満の企業等を対象としたイニシアティブで、使用電力の再生可能エネルギー100%化に向けて、共に行動を示していくものです。

本学は、2017年11月にメガソーラー野田発電所を中心とした本学所有の太陽光発電設備での発電量(FIT売電と自家消費)と、大学の消費エネルギーの総量を同量にする環境目標を宣言し、2019年1月には発電量が消費電力量を上回り、電力生産での自然エネルギー率100%を達成しました。2020年度には、ガスを含めたすべての消費エネルギーに相当する発電を行うことを目標に掲げて、全学で取り組んでいます。また、本学の主要キャンパスで使用する電力も、2019年8月からすべて再生可能エネルギーへ切り替えました。

日本の脱炭素社会への移行に貢献するため、本学は「まず、隗より始めよ」との考えで、教育面での活動と共に「商いの力」で再生可能エネルギーを流通させるにはどうしたら良いか、多方面での研究を行い、具体的な活動を引き続き展開していきます。この度の「再エネ100宣言 RE Action」への参加を通じて、再エネ100%社会への輪を更に広げていきたいと考えています。

◆千葉商科大学 環境・エネルギーへの取組み

https://www.cuc.ac.jp/about_cuc/activity/environment/index.html

◆千葉商科大学 直近一年間の自然エネルギー率(2018年9月~2019年8月)

2019年
1月達成

<2018年度目標> 自然エネルギー率(電力) **109.4%**

<2020年度目標> 自然エネルギー率(電力+ガス) **87.9%**

※自然エネルギー率:創出エネルギー量を消費エネルギー量で割った値(小数点第2位以下切り捨て)

<本件に関するお問い合わせ先> 千葉商科大学 戦略広報センター

〒272-8512 市川市国府台1-3-1 TEL: 047-373-9968 E-mail: p-info@cuc.ac.jp

CUC 千葉商科大学
Chiba University of Commerce

www.cuc.ac.jp